

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド
(資産成長コース／通貨αコース)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年 1月24日～2024年 1月17日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書(全体版)

資産成長コース	第 17 期（決算日	2022年 7月19日）
	第 96 期（決算日	2022年 2月17日）
	第 97 期（決算日	2022年 3月17日）
	第 98 期（決算日	2022年 4月18日）
通貨αコース	第 99 期（決算日	2022年 5月17日）
	第100期（決算日	2022年 6月17日）
	第101期（決算日	2022年 7月19日）
（作成対象期間 2022年 1月18日～2022年 7月19日）		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

〔資産成長コース〕は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、〔通貨αコース〕は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

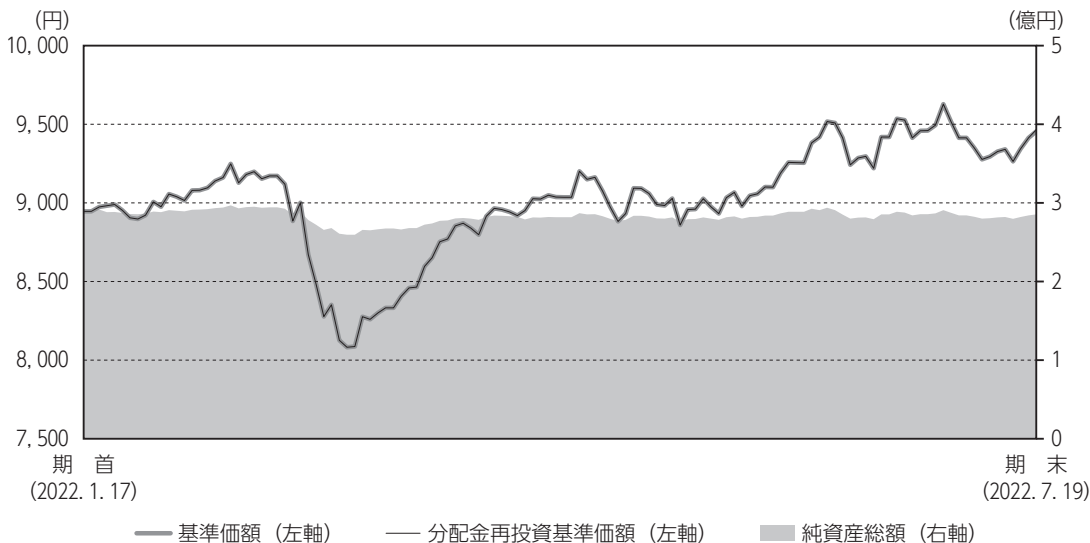
決 算 期	基 準 価 額			ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭ グローバル ダイバーシファイド （円換算）		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	（分配落）	税込み 分配金	期 中 騰落率	（参考指数）	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
13期末(2020年 7 月17日)	9, 291	10	△ 9. 5	10, 844	△ 8. 0	—	99. 0	605
14期末(2021年 1 月18日)	9, 208	10	△ 0. 8	11, 302	4. 2	—	99. 0	382
15期末(2021年 7 月19日)	9, 371	10	1. 9	11, 588	2. 5	—	99. 0	334
16期末(2022年 1 月17日)	8, 946	10	△ 4. 4	11, 492	△ 0. 8	—	99. 0	290
17期末(2022年 7 月19日)	9, 455	10	5. 8	11, 549	0. 5	—	99. 0	285

- （注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
- （注 2）ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、ＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- （注 3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- （注 4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- （注 5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- （注 6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：8,946円

期 末：9,455円（分配金10円）

騰落率：5.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の価格下落などはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や投資対象通貨が対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年 1 月17日	円	%		%	%	%
	8,946	—	11,492	—	—	99.0
1 月末	8,976	0.3	11,476	△ 0.1	—	99.0
2 月末	9,001	0.6	11,525	0.3	—	99.1
3 月末	8,840	△ 1.2	11,513	0.2	—	99.3
4 月末	8,932	△ 0.2	11,351	△ 1.2	—	99.3
5 月末	9,100	1.7	11,548	0.5	—	99.4
6 月末	9,628	7.6	11,739	2.1	—	99.8
(期末) 2022年 7 月19日	9,465	5.8	11,549	0.5	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 1. 18 ～ 2022. 7. 19）

■新興国債券市況

新興国債券市場は、インフレ率の加速や利上げなどの個別要因を背景に、多くの国で金利が上昇（債券価格は下落）しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

ロシアでは、2022年2月後半にウクライナに侵攻したことにより、金利が大幅に上昇しました。また、欧米から経済制裁が課された結果、債券市場の流動性が低い状態が続きました。ポーランドや南アフリカでは、利上げの実施などを背景に、金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、インフレ率の加速などを背景に、金利は上昇しました。インドやフィリピンでは、利上げの実施などを背景に、金利は上昇しました。

・中南米地域

ブラジル、メキシコ、ペルーでは、インフレ率の加速や利上げが実施されたことなどを受け、金利は上昇しました。

■為替相場

新興国為替相場は、米国の利上げを背景とした米ドル高が進み、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

ロシア・ルーブルは、ウクライナに侵攻したことによりリスク回避的に売られたものの、その後はロシア政府の資本規制などによって値を戻し、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチや南アフリカ・ランドは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピー、フィリピン・ペソは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルやメキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 1. 18 ～ 2022. 7. 19）

■当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、当作成期首はトルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資していましたが、2022年2月前半に組入通貨からトルコ・リラを除外し、南アフリカ・ランドを新たに組み入れました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。

- ・債券ポートフォリオの金利変動リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

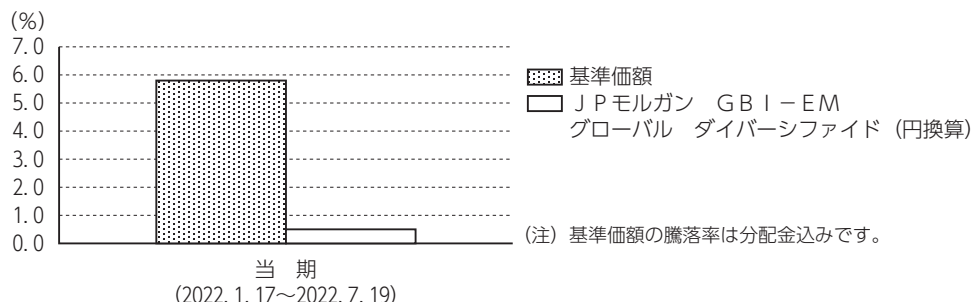
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年1月18日 ～2022年7月19日	
当期分配金（税込み）（円）		10
対基準価額比率（％）		0.11
当期の収益（円）		10
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		4,895

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 288.65円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00
(c) 収益調整金	69.93
(d) 分配準備積立金	4,547.29
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	4,905.87
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,895.87

- （注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 1. 18～2022. 7. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0. 593%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 025円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0. 597	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

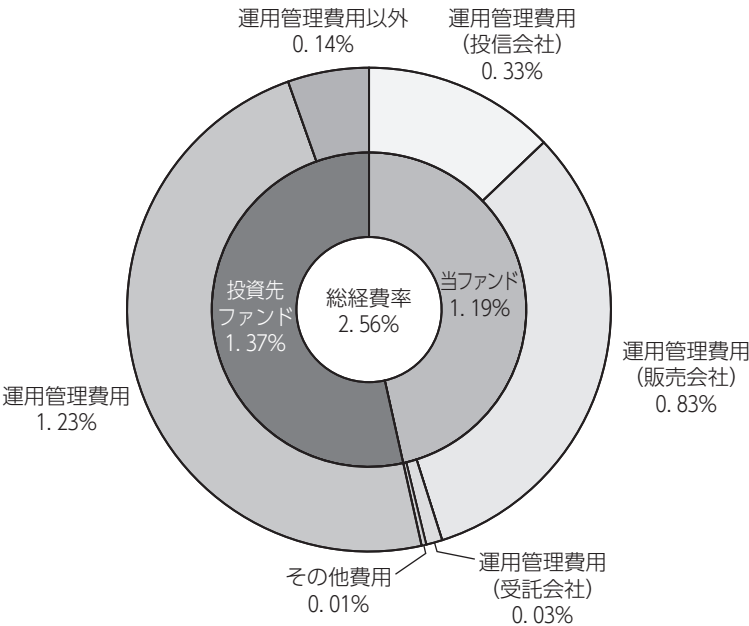
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.56%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.56%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年 1 月18日から2022年 7 月19日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	166.89698	9,967	377.72783	22,700

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年 1 月18日から2022年 7 月19日まで)

当 期				期 付					
買 柄		口 数	金 額	平均単価	売 柄		口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)		377.72783	22,700	60

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	4,561.77643	282,633	99.0

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年 7 月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	282,633	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	4,785	1.7
投資信託財産総額	287,453	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 7月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	287,453,569円
コール・ローン等	4,785,339
投資信託受益証券（評価額）	282,633,982
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	34,248
(B) 負債	1,989,163
未払収益分配金	301,906
未払信託報酬	1,675,661
その他未払費用	11,596
(C) 純資産総額（A－B）	285,464,406
元本	301,906,575
次期繰越損益金	△ 16,442,169
(D) 受益権総口数	301,906,575口
1万口当り基準価額（C／D）	9,455円

* 期首における元本額は324,882,849円、当作成期間中における追加設定元本額は158,410円、同解約元本額は23,134,684円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,455円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16,442,169円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 1月18日 至 2022年 7月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,652,856円
受取配当金	9,653,029
支払利息	△ 173
(B) 有価証券売買損益	7,704,849
売買益	8,375,740
売買損	△ 670,891
(C) 信託報酬等	△ 1,687,257
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	15,670,448
(E) 前期繰越損益金	△ 32,656,506
(F) 追加信託差損益金	845,795
(配当等相当額)	(2,111,344)
(売買損益相当額)	(△ 1,265,549)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 16,140,263
(H) 収益分配金	△ 301,906
次期繰越損益金（G＋H）	△ 16,442,169
追加信託差損益金	845,795
(配当等相当額)	(2,111,344)
(売買損益相当額)	(△ 1,265,549)
分配準備積立金	145,698,453
繰越損益金	△ 162,986,417

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,714,572円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,111,344
(d) 分配準備積立金	137,285,787
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	148,111,703
(f) 分配金	301,906
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	147,809,797
(h) 受益権総口数	301,906,575口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72期末(2020年2月17日)	4,758	40	△ 0.4	11,656	△ 1.1	—	99.3	1,431
73期末(2020年3月17日)	4,144	40	△ 12.1	9,914	△ 14.9	—	99.2	1,236
74期末(2020年4月17日)	4,097	40	△ 0.2	9,958	0.4	—	99.4	1,189
75期末(2020年5月18日)	4,085	40	0.7	10,111	1.5	—	99.1	1,179
76期末(2020年6月17日)	4,125	40	2.0	10,780	6.6	—	99.8	1,179
77期末(2020年7月17日)	4,075	40	△ 0.2	10,844	0.6	—	99.0	1,155
78期末(2020年8月17日)	3,991	40	△ 1.1	10,850	0.1	—	99.3	1,124
79期末(2020年9月17日)	3,944	30	△ 0.4	10,848	△ 0.0	—	99.0	1,098
80期末(2020年10月19日)	3,877	30	△ 0.9	10,674	△ 1.6	—	99.1	1,066
81期末(2020年11月17日)	3,878	30	0.8	11,028	3.3	—	99.3	1,040
82期末(2020年12月17日)	3,876	30	0.7	11,318	2.6	—	99.1	1,027
83期末(2021年1月18日)	3,847	30	0.0	11,302	△ 0.1	—	99.0	1,009
84期末(2021年2月17日)	3,884	30	1.7	11,593	2.6	—	99.2	994
85期末(2021年3月17日)	3,841	30	△ 0.3	11,403	△ 1.6	—	99.0	961
86期末(2021年4月19日)	3,776	30	△ 0.9	11,425	0.2	—	99.0	929
87期末(2021年5月17日)	3,791	30	1.2	11,648	2.0	—	98.0	924
88期末(2021年6月17日)	3,777	30	0.4	11,936	2.5	—	99.3	899
89期末(2021年7月19日)	3,711	30	△ 1.0	11,588	△ 2.9	—	99.0	871
90期末(2021年8月17日)	3,642	30	△ 1.1	11,457	△ 1.1	—	99.2	831
91期末(2021年9月17日)	3,632	30	0.5	11,564	0.9	—	99.2	807
92期末(2021年10月18日)	3,647	30	1.2	11,805	2.1	—	99.0	798
93期末(2021年11月17日)	3,532	30	△ 2.3	11,579	△ 1.9	—	99.0	748
94期末(2021年12月17日)	3,349	30	△ 4.3	11,312	△ 2.3	—	98.9	687
95期末(2022年1月17日)	3,349	30	0.9	11,492	1.6	—	99.0	685
96期末(2022年2月17日)	3,400	30	2.4	11,794	2.6	—	99.1	691
97期末(2022年3月17日)	3,043	30	△ 9.6	10,981	△ 6.9	—	99.0	618
98期末(2022年4月18日)	3,141	30	4.2	11,651	6.1	—	99.0	640
99期末(2022年5月17日)	3,082	30	△ 0.9	11,131	△ 4.5	—	98.9	612
100期末(2022年6月17日)	3,117	30	2.1	11,413	2.5	—	99.1	613
101期末(2022年7月19日)	3,172	30	2.7	11,549	1.2	—	99.0	619

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

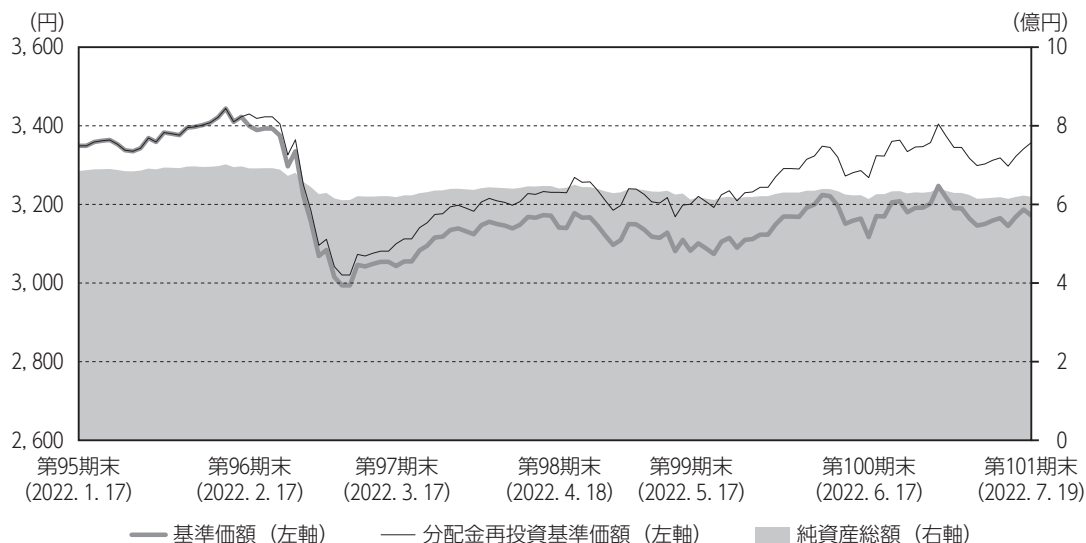
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第96期首：3,349円

第101期末：3,172円（既払分配金180円）

騰落率：0.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や通貨オプション取引によるプレミアム収入はプラス要因となりましたが、債券の価格下落などがマイナス要因となり、分配金再投資基準価額は当作成期を通してみると横ばいでした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I ー E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第96期		円	%		%	%	%
	(期首) 2022年 1 月17日	3, 349	—	11, 492	—	—	99. 0
	1 月末	3, 359	0. 3	11, 476	△ 0. 1	—	98. 8
	(期末) 2022年 2 月17日	3, 430	2. 4	11, 794	2. 6	—	99. 1
第97期	(期首) 2022年 2 月17日	3, 400	—	11, 794	—	—	99. 1
	2 月末	3, 335	△ 1. 9	11, 525	△ 2. 3	—	98. 9
	(期末) 2022年 3 月17日	3, 073	△ 9. 6	10, 981	△ 6. 9	—	99. 0
第98期	(期首) 2022年 3 月17日	3, 043	—	10, 981	—	—	99. 0
	3 月末	3, 132	2. 9	11, 513	4. 8	—	98. 8
	(期末) 2022年 4 月18日	3, 171	4. 2	11, 651	6. 1	—	99. 0
第99期	(期首) 2022年 4 月18日	3, 141	—	11, 651	—	—	99. 0
	4 月末	3, 109	△ 1. 0	11, 351	△ 2. 6	—	99. 5
	(期末) 2022年 5 月17日	3, 112	△ 0. 9	11, 131	△ 4. 5	—	98. 9
第100期	(期首) 2022年 5 月17日	3, 082	—	11, 131	—	—	98. 9
	5 月末	3, 123	1. 3	11, 548	3. 7	—	98. 8
	(期末) 2022年 6 月17日	3, 147	2. 1	11, 413	2. 5	—	99. 1
第101期	(期首) 2022年 6 月17日	3, 117	—	11, 413	—	—	99. 1
	6 月末	3, 247	4. 2	11, 739	2. 9	—	99. 1
	(期末) 2022年 7 月19日	3, 202	2. 7	11, 549	1. 2	—	99. 0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 1. 18 ～ 2022. 7. 19）

■新興国債券市況

新興国債券市場は、インフレ率の加速や利上げなどの個別要因を背景に、多くの国で金利が上昇（債券価格は下落）しました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ロシアでは、2022年2月後半にウクライナに侵攻したことにより、金利が大幅に上昇しました。また、欧米から経済制裁が課された結果、債券市場の流動性が低い状態が続きました。ポーランドや南アフリカでは、利上げの実施などを背景に、金利は上昇しました。

- ・ アジア地域

インドネシアでは、インフレ率の加速などを背景に、金利は上昇しました。インドやフィリピンでは、利上げの実施などを背景に、金利は上昇しました。

- ・ 中南米地域

ブラジル、メキシコ、ペルーでは、インフレ率の加速や利上げが実施されたことなどを受け、金利は上昇しました。

■為替相場

新興国為替相場は、米国の利上げを背景とした米ドル高が進み、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

ロシア・ルーブルは、ウクライナに侵攻したことによりリスク回避的に売られたものの、その後はロシア政府の資本規制などによって値を戻し、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチや南アフリカ・ランドは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

- ・ アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピー、フィリピン・ペソは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

- ・ 中南米地域

ブラジル・リアルやメキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、米ドル円相場が米ドル高円安方向に大きく進行したため、対円で上昇しました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（※）を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

※新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 1. 18 ～ 2022. 7. 19)

■当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、当作成期首はトルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資していましたが、2022年2月前半に組入通貨からトルコ・リラを除外し、南アフリカ・ランドを新たに組み入れました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利変動リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざしました。

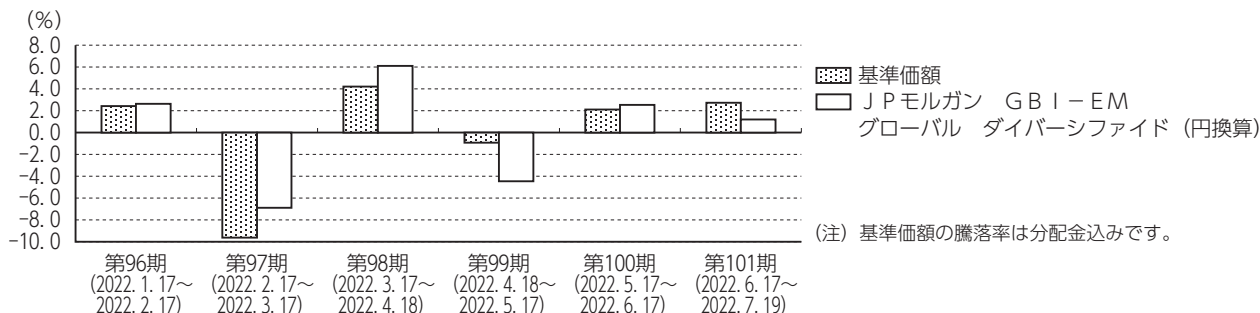
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2022年1月18日 ～2022年2月17日	2022年2月18日 ～2022年3月17日	2022年3月18日 ～2022年4月18日	2022年4月19日 ～2022年5月17日	2022年5月18日 ～2022年6月17日	2022年6月18日 ～2022年7月19日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.87	0.98	0.95	0.96	0.95	0.94
当期の収益 (円)	30	27	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	2	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	248	246	252	255	259	261

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.45円	✓ 27.88円	✓ 36.00円	✓ 33.24円	✓ 33.32円	✓ 32.76円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	39.36	39.94	40.59	41.24	41.92	42.60
(d) 分配準備積立金	205.78	✓ 208.65	205.89	211.25	213.81	216.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	278.60	276.48	282.49	285.74	289.07	291.83
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	248.60	246.48	252.49	255.74	259.07	261.83

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利変動リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2022. 1. 18～2022. 7. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0. 590%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 188円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0. 165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0. 413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 021	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0. 021)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0. 614	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

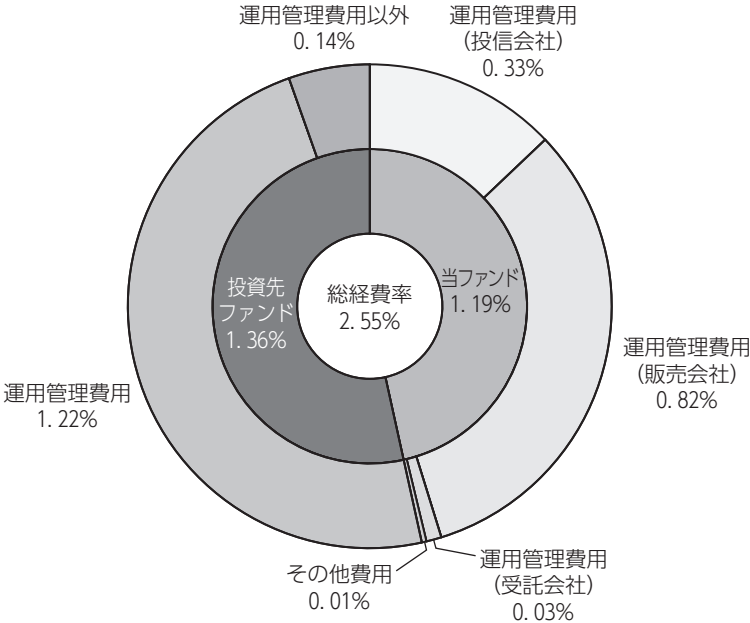
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.55%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.55%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年1月18日から2022年7月19日まで)

決 算 期	第 96 期 ～ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,386.75576	41,980	2,278.99204	68,662

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年1月18日から2022年7月19日まで)

第 96 期 ～				第 101 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	2,278.99204	68,662	30

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	20,139.34568	613,182	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	96	96	97

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年7月19日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	613,182	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	12,659	2.0
投資信託財産総額	625,939	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月17日)、(2022年3月17日)、(2022年4月18日)、(2022年5月17日)、(2022年6月17日)、(2022年7月19日)現在

項 目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	699,735,063円	625,218,822円	652,306,734円	645,702,242円	624,643,899円	625,939,783円
コール・ローン等	13,821,398	12,841,239	8,084,619	13,013,930	16,161,130	12,659,275
投資信託受益証券 (評価額)	685,815,814	612,279,732	633,944,664	605,444,861	608,384,918	613,182,657
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	97,851	97,851	97,851	97,851	97,851	97,851
未収入金	—	—	10,179,600	27,145,600	—	—
(B) 負債	7,826,230	6,697,939	11,880,992	33,688,082	10,701,804	6,532,728
未払金	—	—	5,089,800	13,572,800	—	—
未払収益分配金	6,105,084	6,098,531	6,117,580	5,956,523	5,909,754	5,858,823
未払解約金	1,020,900	—	—	13,543,479	4,142,944	—
未払信託報酬	695,411	590,462	660,078	597,592	627,058	647,355
その他未払費用	4,835	8,946	13,534	17,688	22,048	26,550
(C) 純資産総額 (A - B)	691,908,833	618,520,883	640,425,742	612,014,160	613,942,095	619,407,055
元本	2,035,028,299	2,032,843,799	2,039,193,565	1,985,507,855	1,969,918,140	1,952,941,110
次期繰越損益金	△ 1,343,119,466	△ 1,414,322,916	△ 1,398,767,823	△ 1,373,493,695	△ 1,355,976,045	△ 1,333,534,055
(D) 受益権総口数	2,035,028,299口	2,032,843,799口	2,039,193,565口	1,985,507,855口	1,969,918,140口	1,952,941,110口
1万口当り基準価額 (C/D)	3,400円	3,043円	3,141円	3,082円	3,117円	3,172円

* 当作成期首における元本額は2,045,423,598円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は36,739,295円、同解約元本額は129,221,783円です。

* 第101期末の計算口数当りの純資産額は3,172円です。

* 第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,333,534,055円です。

■損益の状況

第96期 自 2022年1月18日 至 2022年2月17日

第98期 自 2022年3月18日 至 2022年4月18日

第100期 自 2022年5月18日 至 2022年6月17日

第97期 自 2022年2月18日 至 2022年3月17日

第99期 自 2022年4月19日 至 2022年5月17日

第101期 自 2022年6月18日 至 2022年7月19日

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	7,097,976円	6,263,094円	7,529,799円	7,203,023円	6,892,830円	6,649,485円
受取配当金	7,098,100	6,263,153	7,529,820	7,203,065	6,892,997	6,649,645
支払利息	△ 124	△ 59	△ 21	△ 42	△ 167	△ 160
(B) 有価証券売買損益	10,085,789	△ 72,212,014	19,224,882	△ 12,196,606	6,381,110	10,616,361
売買益	10,108,506	319,905	19,224,902	302,338	6,464,627	10,679,596
売買損	△ 22,717	△ 72,531,919	△ 20	△ 12,498,944	△ 83,517	△ 63,235
(C) 信託報酬等	△ 700,246	△ 594,573	△ 664,666	△ 601,746	△ 631,418	△ 651,857
(D) 当期損益金 (A + B + C)	16,483,519	△ 66,543,493	26,090,015	△ 5,595,329	12,642,522	16,613,989
(E) 前期繰越損益金	△ 1,183,954,379	△ 1,169,027,911	△ 1,241,668,222	△ 1,185,898,577	△ 1,184,235,144	△ 1,163,724,618
(F) 追加信託差損益金	△ 169,543,522	△ 172,652,981	△ 177,072,036	△ 176,043,266	△ 178,473,669	△ 180,564,603
(配当等相当額)	(8,010,066)	(8,121,019)	(8,277,591)	(8,188,294)	(8,259,852)	(8,320,528)
(売買損益相当額)	(△ 177,553,588)	(△ 180,774,000)	(△ 185,349,627)	(△ 184,231,560)	(△ 186,733,521)	(△ 188,885,131)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,337,014,382	△ 1,408,224,385	△ 1,392,650,243	△ 1,367,537,172	△ 1,350,066,291	△ 1,327,675,232
(H) 収益分配金	△ 6,105,084	△ 6,098,531	△ 6,117,580	△ 5,956,523	△ 5,909,754	△ 5,858,823
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,343,119,466	△ 1,414,322,916	△ 1,398,767,823	△ 1,373,493,695	△ 1,355,976,045	△ 1,333,534,055
追加信託差損益金	△ 169,543,522	△ 172,652,981	△ 177,072,036	△ 176,043,266	△ 178,473,669	△ 180,564,603
(配当等相当額)	(8,010,066)	(8,121,019)	(8,277,591)	(8,188,294)	(8,259,852)	(8,320,528)
(売買損益相当額)	(△ 177,553,588)	(△ 180,774,000)	(△ 185,349,627)	(△ 184,231,560)	(△ 186,733,521)	(△ 188,885,131)
分配準備積立金	42,581,313	41,986,285	43,211,409	42,590,017	42,775,167	42,814,293
繰越損益金	△ 1,216,157,257	△ 1,283,656,220	△ 1,264,907,196	△ 1,240,040,446	△ 1,220,277,543	△ 1,195,783,745

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	6, 808, 704円	5, 668, 521円	7, 342, 762円	6, 601, 277円	6, 564, 935円	6, 398, 455円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8, 010, 066	8, 121, 019	8, 277, 591	8, 188, 294	8, 259, 852	8, 320, 528
(d) 分配準備積立金	41, 877, 693	42, 416, 295	41, 986, 227	41, 945, 263	42, 119, 986	42, 274, 661
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	56, 696, 463	56, 205, 835	57, 606, 580	56, 734, 834	56, 944, 773	56, 993, 644
(f) 分配金	6, 105, 084	6, 098, 531	6, 117, 580	5, 956, 523	5, 909, 754	5, 858, 823
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	50, 591, 379	50, 107, 304	51, 489, 000	50, 778, 311	51, 035, 019	51, 134, 821
(h) 受益権総口数	2, 035, 028, 299□	2, 032, 843, 799□	2, 039, 193, 565□	1, 985, 507, 855□	1, 969, 918, 140□	1, 952, 941, 110□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金(税込み)	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2022年7月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2021年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	10,996,786
現金および現金同等物		468,868
未収：		
利息		176,402
資産合計		11,642,056

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		88,778
未払：		
専門家報酬		19,115
管理会社報酬		7,718
保管会社報酬		5,997
報酬代行会社報酬		3,490
副投資運用会社報酬		2,967
名義書換代理人報酬		196
負債（換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		128,261
換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	11,513,795

包括利益計算書

2021年 5月31日に終了した年度

収益

金融商品の損益通算後の評価額から生じる純損益

受取利息	\$	752,158
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による実現損失		(1,346,841)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の変動		869,887
外国為替取引による実現損失		(12,180)
外国為替取引による評価損益の変動		(1,749)
収益合計		261,275

費用

管理会社報酬		45,001
副投資運用会社報酬		41,481
保管会社報酬		36,598
報酬代行会社報酬		24,406
専門家報酬		18,616
受託会社報酬		10,000
名義書換代理人報酬		3,750
登録料		149
費用合計		180,001

金融費用控除前営業損益

81,274

金融費用

換金可能受益証券の保有者への分配金		(1,301,723)
-------------------	--	-------------

分配後および税引前損失

(1,220,449)

源泉徴収税		(65,686)
-------	--	----------

運用の結果生じた換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額

\$ (1,286,135)

投資明細表
2021年5月28日

債券	評価額
ブラジル	
NOTA DO TESO 10% 01/01/23/BRL/	\$ 1,040,509.59
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	211,367.93
ブラジル計	1,251,877.52
インドネシア	
INDONESIA 12.8% 06/15/21/IDR/	421,406.76
INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/	393,222.89
INDONESIA 5.625% 05/15/23/IDR/	356,403.59
インドネシア計	1,171,033.24
メキシコ	
PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/	1,162,394.83
MEX BONOS 7.75% 11/13/42/MXN/	194,818.91
メキシコ計	1,357,213.74
ペルー	
BONOS DE TE 5.2% 09/12/23/PEN/	1,201,860.21
ペルー計	1,201,860.21
フィリピン	
PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/	933,365.89
PHILIPPIN 2.625% 08/12/25/PHP/	269,994.50
フィリピン計	1,203,360.39
ポーランド	
POLAND GOV 2.25% 04/25/22/PLN/	774,775.36
POLAND GOV 2.25% 10/25/24/PLN/	513,527.76
ポーランド計	1,288,303.12
ロシア	
RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/	526,555.62
RUSSIA GOVT 7.5% 08/18/21/RUB/	685,436.42
ロシア計	1,211,992.04

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド

債券	評価額
国際機関	
EUROPEAN BK 6. 5% 06/19/23/INR/	56, 194. 68
EUROPEAN BK 5. 2% 01/22/26/INR/	275, 685. 12
INTL FINANC 6. 3% 11/25/24/INR/	906, 694. 27
国際機関計	1, 238, 574. 07
トルコ	
TURKEY GOVER 11% 02/24/27/TRY/	308, 388. 04
TURKEY GOVER 11% 03/02/22/TRY/	610, 415. 75
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	153, 768. 05
トルコ計	1, 072, 571. 84
債券計	10, 996, 786. 17

通貨αクラス - 2021年5月31日現在の仕組スワップ取引の残高：(純資産の-0.8%)				
戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2021/6/7	Credit Suisse International	\$ 8, 178, 500	\$ (88, 778)

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2022年7月19日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年1月18日～2022年7月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年7月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

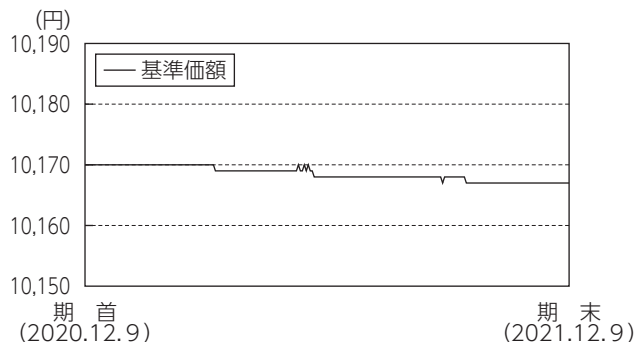
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2020年12月9日	円 10,170	% -	% -	% -
12月末	10,170	0.0	-	-
2021年1月末	10,170	0.0	-	-
2月末	10,170	0.0	-	-
3月末	10,169	△0.0	-	-
4月末	10,169	△0.0	-	-
5月末	10,169	△0.0	-	-
6月末	10,168	△0.0	-	-
7月末	10,168	△0.0	-	-
8月末	10,168	△0.0	-	-
9月末	10,167	△0.0	-	-
10月末	10,167	△0.0	-	-
11月末	10,167	△0.0	-	-
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	-	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

国 内		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
	国内短期社債等	110,997,998	111,997,992 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,782,301,285円
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	6,782,301,285
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C／D)	10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－AI新時代－ (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－AI新時代－ (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ／“RICI”コモディティ・ファンド	2,074,249円
US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)	1,676円
US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし／年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／毎月分配型)	983円
D/Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C+D+E+F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。